



平成23年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成22年8月10日

上場会社名 株式会社イナリサーチ 上場取引所 JQ
 コード番号 2176 URL <http://www.ina-research.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 中川 博司 (TEL) 0265 (73) 6647
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 社長室長 (氏名) 野竹 文彦 配当支払開始 ー
 四半期報告書提出予定日 平成22年8月11日 予定日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成23年3月期第1四半期の連結業績（平成22年4月1日～平成22年6月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
23年3月期第1四半期	719	△6.3	△83	—	△108	—	△78	—
22年3月期第1四半期	768	50.2	6	—	△0	—	△3	—

	1株当たり 四半期純利益		潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益	
	円	銭	円	銭
23年3月期第1四半期	△2,623	40	—	—
22年3月期第1四半期	△120	26	—	—

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円	百万円	百万円	百万円	%	円	銭	
23年3月期第1四半期	5,230	1,759	32.2	56,224	41			
22年3月期	5,438	1,881	33.1	60,097	43			

(参考) 自己資本 23年3月期第1四半期 1,685百万円 22年3月期 1,801百万円

2. 配当の状況

	年間配当金					
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計	
	円	銭	円	銭	円	銭
22年3月期	—	—	0	00	500	00
23年3月期	—	—	—	—	—	—
23年3月期(予想)	—	—	0	00	700	00

(注) 当四半期における配当予想の修正有無：無

3. 平成23年3月期の連結業績予想（平成22年4月1日～平成23年3月31日）

(%表示は、通期は対前期、第2四半期（累計）は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円	銭
第2四半期（累計）	2,029	28.5	22	—	5	—	△5	—	△165	62
通期	4,195	11.8	237	41.1	205	33.8	100	51.5	3,312	15

(注) 当四半期における業績予想の修正有無：無

4. その他（詳細は、[添付資料] 3ページ「2. その他の情報」をご覧ください。）

(1) 当四半期中における重要な子会社の異動：無

(注) 当四半期会計期間における連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動の有無となります。

(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の適用：無

(注) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用の有無となります。

(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

① 会計基準等の改正に伴う変更：有

② ①以外の変更：無

(注) 「四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項の変更」に記載される四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の有無となります。

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）

23年3月期1Q	29,982株	22年3月期	29,982株
23年3月期1Q	－株	22年3月期	－株
23年3月期1Q	29,982株	22年3月期1Q	29,950株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数（四半期累計）

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビュー手続の対象外であります。なお、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビュー手続を終了しております。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に掲載されている業績の見通し等の将来に関する記述は、当社が現時点において入手可能な情報に基づいて作成しておりますが、実際の業績等は様々な要因により予想と異なる結果となる場合があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	2
2. その他の情報	3
(1) 重要な子会社の異動の概要	3
(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要	3
(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要	3
(4) 継続企業の前提に関する重要事象等の概要	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 継続企業の前提に関する注記	8
(5) セグメント情報	8
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	9

1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期連結会計期間における当社グループの主力事業が大きく関わる医薬品業界におきましては、大型製品の特許切れが相次ぐ「2010年問題」や医療費抑制政策の影響等から、新薬の開発が一層重要な課題となっております。そのため大手製薬企業では、新たな収益源の早期確保を目指し、海外の新薬開発企業の買収や、パイプライン（有望な新薬の種）への投資を最終段階にある試験に集中させる傾向が見られ、従来にもまして競争が激化しております。

当社グループにおきましては、製薬企業の開発ニーズに応えるために、高品質の試験データと報告書の提供に取り組んでまいりましたが、製薬企業の開発動向の変化等により、同業他社との受注競争の激化に伴う受注価格が低下したことから、個々の試験の利益は減少し収益は厳しいものとなりました。なお、医薬品業界の慣例により売上高には季節変動があり、第4四半期連結会計期間に集中する傾向があります。このため、例年第1四半期連結会計期間においては終了する試験が少なく売上が少ないため利益面では赤字となる傾向にあります。

この様な状況の下、当第1四半期連結会計期間における売上高は719,806千円（前年同四半期比6.3%減）、営業損失は83,974千円（前年同四半期は営業利益6,816千円）、経常損失は108,136千円（前年同四半期は経常損失863千円）、四半期純損失は78,655千円（前年同四半期は四半期純損失3,602千円）となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

① 非臨床試験

当第1四半期連結会計期間における売上高は691,815千円、営業損失は53,273千円となりました。また、ヨーロッパ支所の設立（平成22年3月）及び営業3部の設置等営業力の強化に取り組んだ結果、受注実績は824,974千円となりました。なお、当第1四半期連結会計期間末における受注残高は1,992,231千円となりました。

② 臨床試験

事業拠点の整備を進めており設備投資が先行し、売上高は193千円、営業損失は13,478千円となりました。

③ 環境

保守業務と消耗品の販売が中心であったことから、売上高27,797千円、営業損失17,222千円となりました。なお、大手製薬企業研究所への動物飼育機材等の受注を請けており、本年度中の売上を見込んでおります。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

当四半期末の資産、負債及び純資産の状況

資産の部の残高は5,230,303千円となり、前連結会計年度末と比較して208,022千円減少しました。本減少は主に、前期購入した有形固定資産の支払による現金及び預金の減少であります。

負債の部の残高は3,471,149千円となり、前連結会計年度末に比べ86,144千円減少しました。減少の主な要因は、前期に有形固定資産取得のため振り出した設備支払手形が決済されたことによるものであります。

純資産の部の残高は1,759,153千円であり、前連結会計年度末に比べ121,878千円減少しました。本減少は主に、利益剰余金の減少によるものであります。

キャッシュ・フローの状況

当第1四半期連結会計期間における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前第1四半期連結会計期間と比較して3,591千円減少し、148,997千円となりました。当第1四半期連結会計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果使用した資金は98,881千円（前年同四半期は187,496千円）となりました。主な内訳は税金等調整前四半期純損失108,639千円、売上債権の減少額79,683千円、たな卸資産の増加額58,532千円、前受金の増加額100,114千円、法人税等の支払額73,029千円であります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果使用した資金は149,511千円（前年同四半期は206,591千円）となりました。主な内訳は前期購入した有形固定資産の支払額173,626千円であります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果得られた資金は99,813千円（前年同四半期は240,839千円）となりました。主な内訳は短期借入金の純増加額240,000千円、長期借入金の返済による支出116,120千円であります。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成22年5月11日に公表いたしました連結業績予想から修正は行っておりません。

2. その他の情報

(1) 重要な子会社の異動の概要
該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要
該当事項はありません。

(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要

・会計処理基準に関する事項の変更

資産除去債務に関する会計基準の適用

当第1四半期連結会計期間より、「資産除去債務に関する会計基準」（企業会計基準第18号 平成20年3月31日）及び「資産除去債務に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第21号 平成20年3月31日）を適用しております。

これにより、営業損失及び経常損失はそれぞれ168千円増加し、税金等調整前四半期純損失は1,582千円増加しております。

(4) 継続企業の前提に関する重要事象等の概要
該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	当第1四半期連結会計期間末 (平成22年6月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	186,083	361,715
受取手形及び売掛金	376,083	462,384
商品及び製品	2,416	2,538
仕掛品	927,018	840,718
原材料及び貯蔵品	283,628	323,415
その他	251,202	183,761
貸倒引当金	△4,289	△5,395
流動資産合計	2,022,143	2,169,137
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	3,576,760	3,573,816
減価償却累計額	△1,645,966	△1,577,006
建物及び構築物 (純額)	1,930,793	1,996,810
土地	819,691	824,349
その他	971,139	975,158
減価償却累計額	△647,202	△667,932
その他 (純額)	323,937	307,226
有形固定資産合計	3,074,422	3,128,385
無形固定資産	97,790	103,036
投資その他の資産		
その他	36,846	38,666
貸倒引当金	△900	△900
投資その他の資産合計	35,946	37,766
固定資産合計	3,208,160	3,269,188
資産合計	5,230,303	5,438,325
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	313,809	300,423
短期借入金	460,000	220,000
1年内返済予定の長期借入金	431,280	444,580
未払法人税等	4,301	79,256
前受金	738,120	648,099
賞与引当金	42,240	92,734
その他	219,876	400,425
流動負債合計	2,209,626	2,185,519

(単位：千円)

	当第1四半期連結会計期間末 (平成22年6月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年3月31日)
固定負債		
長期借入金	994,860	1,097,680
退職給付引当金	3,634	3,776
役員退職慰労引当金	50,650	49,725
その他	212,378	220,593
固定負債合計	1,261,523	1,371,774
負債合計	3,471,149	3,557,294
純資産の部		
株主資本		
資本金	684,790	684,790
資本剰余金	600,790	600,790
利益剰余金	475,898	569,544
株主資本合計	1,761,478	1,855,124
評価・換算差額等		
為替換算調整勘定	△75,758	△53,283
評価・換算差額等合計	△75,758	△53,283
少数株主持分	73,433	79,190
純資産合計	1,759,153	1,881,031
負債純資産合計	5,230,303	5,438,325

(2) 四半期連結損益計算書
(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年6月30日)
売上高	768,138	719,806
売上原価	537,922	594,512
売上総利益	230,216	125,294
販売費及び一般管理費	223,400	209,268
営業利益又は営業損失(△)	6,816	△83,974
営業外収益		
受取利息	61	43
受取賃貸料	3,771	3,806
補助金収入	1,298	—
その他	23	361
営業外収益合計	5,154	4,211
営業外費用		
支払利息	7,992	11,196
為替差損	4,303	16,453
その他	538	722
営業外費用合計	12,834	28,372
経常損失(△)	△863	△108,136
特別利益		
貸倒引当金戻入額	3,190	951
特別利益合計	3,190	951
特別損失		
固定資産除却損	382	40
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	—	1,413
特別損失合計	382	1,454
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	1,944	△108,639
法人税、住民税及び事業税	1,269	1,490
法人税等調整額	3,751	△31,808
法人税等合計	5,021	△30,318
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	—	△78,321
少数株主利益	525	333
四半期純損失(△)	△3,602	△78,655

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成21年4月1日 至 平成21年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	1,944	△108,639
減価償却費	67,579	72,766
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△4,180	△1,082
賞与引当金の増減額(△は減少)	△64,979	△50,494
退職給付引当金の増減額(△は減少)	273	148
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	825	925
受取利息	△61	△43
支払利息	7,992	11,196
固定資産除却損	382	40
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	—	1,413
売上債権の増減額(△は増加)	171,629	79,683
たな卸資産の増減額(△は増加)	△3,468	△58,532
仕入債務の増減額(△は減少)	△157,864	15,062
前受金の増減額(△は減少)	△226,072	100,114
その他	79,892	△77,000
小計	△126,109	△14,441
利息及び配当金の受取額	61	43
利息の支払額	△9,676	△11,454
法人税等の支払額	△51,771	△73,029
営業活動によるキャッシュ・フロー	△187,496	△98,881
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の増減額(△は増加)	4,983	24,073
有形固定資産の取得による支出	△205,248	△173,626
無形固定資産の取得による支出	△3,861	—
その他	△2,464	41
投資活動によるキャッシュ・フロー	△206,591	△149,511
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	340,000	240,000
長期借入金の返済による支出	△57,400	△116,120
リース債務の返済による支出	△7,450	△13,144
株式の発行による収入	800	—
配当金の支払額	△35,109	△10,922
財務活動によるキャッシュ・フロー	240,839	99,813
現金及び現金同等物に係る換算差額	△348	△2,978
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△153,596	△151,558
現金及び現金同等物の期首残高	306,186	300,556
現金及び現金同等物の四半期末残高	152,589	148,997

(4) 継続企業の前提に関する注記
該当事項はありません。

(5) セグメント情報

[事業の種類別セグメント情報]

前第1四半期連結累計期間 (自 平成21年4月1日 至 平成21年6月30日)

	医薬品非臨床試験事業 (千円)	臨床試験事業 (千円)	その他事業 (千円)	計 (千円)	消去又は全社 (千円)	連結 (千円)
売上高						
(1) 外部顧客に対する売上高	737,952	—	30,185	768,138	—	768,138
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	737,952	—	30,185	768,138	—	768,138
営業利益又は営業損失 (△)	57,694	△16,759	△34,118	6,816	—	6,816

(注) 1. 事業区分の方法

事業は、製品の系列及び市場の類似性を考慮して区分しております。

2. 各区分に属する主要な製品

事業区分	主要製品
医薬品非臨床試験事業	医薬品開発のための安全性試験、薬効薬理試験
臨床試験事業	医薬品開発のための臨床試験の受託
その他事業	空調装置、スクラバー（ガス除去装置）、脱臭剤搭載装置の開発・施工・販売等、食品の非臨床試験及びヒト臨床試験の受託

[所在地別セグメント情報]

前第1四半期連結累計期間 (自 平成21年4月1日 至 平成21年6月30日)

	日本 (千円)	フィリピン (千円)	計 (千円)	消去又は全社 (千円)	連結 (千円)
売上高					
(1) 外部顧客に対する売上高	768,119	18	768,138	—	768,138
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	—	10,130	10,130	(10,130)	—
計	768,119	10,148	778,268	(10,130)	768,138
営業利益又は営業損失 (△)	11,578	△6,078	5,499	1,316	6,816

(注) 国別に区分しております。

[海外売上高]

前第1四半期連結累計期間 (自 平成21年4月1日 至 平成21年6月30日)

海外売上高は、連結売上高の10%未満であるため、海外売上高の記載を省略しております。

[セグメント情報]

1. 報告セグメントの概要

当社の報告セグメントは、当社の構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社取締役会は、事業を製品・サービス別に区分して業績を評価しております。したがって当社は、動物試験を通じて医薬品・食品の開発支援を行う「非臨床試験」、ヒト試験を通じて医薬品・食品の開発支援を行う「臨床試験」、実験動物施設の設計及び機材の販売を行う「環境」の三つを報告セグメントとしております。

「非臨床試験」は、製薬企業等から委託を受け、実験動物や細胞を用いて医薬品及び食品の安全性や有効性の確認を行う非臨床試験を実施しております。「臨床試験」は、医薬品及び食品の安全性や有効性を臨床において確認する試験を行っております。「環境」は、脱臭剤搭載装置の設計・販売等を行っております。

2. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

当第1四半期連結累計期間（自 平成22年4月1日 至 平成22年6月30日）

（単位：千円）

	非臨床試験	臨床試験	環境	合計（注）
売上高				
外部顧客への売上高	691,815	193	27,797	719,806
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—
計	691,815	193	27,797	719,806
セグメント損失（△）	△53,273	△13,478	△17,222	△83,974

（注）セグメント損失は、四半期連結損益計算書上の営業損失であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

（追加情報）

当第1四半期連結会計期間より、「セグメント情報等の開示に関する会計基準」（企業会計基準第17号 平成21年3月27日）及び「セグメント情報等の開示に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第20号 平成20年3月21日）を適用しております。

（6）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。